

1 支部秋季競技会 来場にあたっての注意事項

1. 来場に当たっての注意事項

- ①撮影する場合は必ずADカードが見えるようにつけてください。なお、100mスタート後方などでの撮影を禁止します。また、不審者を見つけた場合は速やかに近くの審判に伝えてください。
- ②競技者・競技役員以外はグラウンドレベルへ立ち入ることは禁止です。競技者・競技役員以外は必ずスタンドから観戦・応援・撮影してください。
- ③各自の貴重品の保管に気をつけてください。特に競技に出場する際は、ロッカーに入れるか、預かってもらう。

2. 出場に当たっての注意事項（重要）

- ①シューズの靴底の厚さの規定があります。十分ご注意下さい。
 - ・競技用シューズは、靴底の最大厚さ 20mm スパイクシューズ、またはノン・スパイクシューズとする。ただし、競技場内で行う競歩競技の靴底の厚さは、道路競技と同じ 40mm とする。
 - ・日本陸連 HP (JAAF) の「WA 承認シューズリスト」を参考に各顧問の先生は選手への出場可能シューズの周知・注意をお願いします。尚、リストに載っていないシューズはメーカーHP に可・不可が掲載されている場合もあります。リストに掲載されていない、又は測定希望の選手は、招集所で測定してもらうことも可能です。
 - ・最終コールの際に競技役員が目視でチェックを行い、場合によってはその場で測定します。規定外の厚さで出場した場合は失格になりますのでご注意ください。
- ②事前にスタートリストを確認しサイドビブスの準備をしてください。その際、数字は太く大きく濃く書くようにお願いします。文字が小さい、細い、薄い場合、写真判定装置で読み取れない場合があります。**また、4×100m R は第4走者、4×400mR は第2～4走者がつけることになっています。**
 - ※サイドビブスは右腰のみの着用でもかまいません。都大会以上の大会では左右の腰への着用が必須です。
- ③長距離種目（3000m 以上）は事前にスタートリストを確認し、オーダーナンバー（レーン番号）のアスリートビブス（胸・背）の準備をお願いします。サイドビブスも同様にオーダーナンバーになります。
- ④リレー種目では、同一のユニフォームを原則としますが、デザイン、配色が同一であれば、選手によりユニフォームのタイプの組み合わせが異なっても良い。

3. 大井陸上競技場使用上の注意事項

- ①競技者・引率者の入場は7：50を予定しています。はじめに各支部で決まった入場順に、ゴール側出入口から各校2名ずつが入場し、その後、観客も含め全体の入場となります。
- ②**テントは競技場内の芝生スタンドにのみ設置し、メインスタンドには設置しないこと。**また、スタンド下の通路は待機場所として使用して良いが、通路幅の半分以上を歩行者用として空けておくこと。なお、ホームストレー
ト前のスタンド軒下も待機場所として使用して良いが、本部前は使用しないこと。
- ③**芝生スタンドの柵に手をかけて上り下りすると柵が破損するので、階段を利用すること。**
- ④引率者の方は、入場後（8時半前後）打ち合わせを行いますので、メインスタンド下、中央にお集まりください。
- ⑤ウォーミングアップは競技場内のウォーミングアップエリア（第2コーナー外側）で行うこと。バックストレー
トは競技が行われていないときのみ使用できるが、審判の指示に従うこと。**また、陸上競技場の外の広場でメデ
ィシンボールを用いた投てき練習などを行わないでください。特にホッケー場の軒下を待機場所として使用する
ことや、ホッケー場前の通路でウォーミングアップをすることは厳禁とします！**
- ⑥バックストレートでのウォーミングアップでは、レーンの途中で止まったり、横切ったりせず、端まで行って周
囲を確認してからレーンの外へ出ること。
- ⑦ウォーミングアップでハードルを使用する場合は練習用ハードルを使用し、試合用のハードルは使用しないこと。
- ⑧競技場への入退場は、ゴール側出入口の1ヵ所のみとする。
- ⑨フィニッシュラインの横は立入禁止区域とする。また、本部前を通行しないこと。
- ⑩ゴミは必ず各校で持ち帰ること。また、帰宅途中にあるごみ箱に捨てていかないこと。
- ⑪スタンドを含む建物内は、すべてスパイクでの歩行は禁止です。
- ⑫メインスタンド下の更衣室は使用可能です。
- ⑬届けられた落とし物は、大会最終日に全て処分します。
- ⑭大会運営上のことで確認する場合は、「生徒→各顧問→大会本部（総務）」という形でお願いします。